

—ゆるやかなネットワークにより岡山地域から持続可能な社会づくりをめざす—



RCE Okayama

岡山

ESDプロジェクト

持続可能な開発のための教育

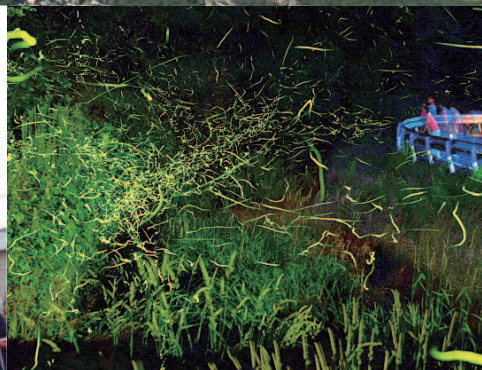
未来に残したいものは何ですか？

この地球で ほし みんなが
ずっとずっと
幸せでいられるように…

次世代に学んで
引き継ぐこの地球

身の回りの何かに気づき
すこしずつ、自分から、今いるところから、
何かを変えてみよう。

あなたにとって大切なものは
何ですか？



Okayama ESD Promotion Commission
岡山ESD推進協議会

ESD(持続可能な開発のための教育)とは

ESDとは、「持続可能な社会づくり」のための学びのことで、私たちの暮らしの中にある環境、平和、人権、国際理解、多文化共生、防災など様々な課題を自分の課題としてとらえて、みんなで意見を出し合いながら考えたり学んだりしていくこと。そして、ただ考えるだけでなく、身近なところから課題の解決につながる行動をおこし、みんなで新たな価値観や持続可能な社会を創っていくことをめざす学習や活動のことを言います。



Education

日本の提案から始まった「ESDの10年」から未来へ

国連は、2002年のヨハネスブルグサミットにおいて、国内NGOの提言を受けた日本政府が提案したことにより、2005年から2014年までを「持続可能な開発のための教育（ESD）の10年」と決めました。2005年にユネスコを中心に国際実施計画が作成されて以降、世界各国でESDに関する様々な取組が行われています。

2014年には岡山市と愛知県・名古屋市で世界会議が開催されます。

岡山市では2015年度以降の「新岡山ESDプロジェクト基本構想」を視野に入れ、公民館や様々な団体、ユネスコスクールを含む学校を中心にESDの取組を進めています。



Sustainable



Development

ESDで目指すこと

目標

- 全ての人が質の高い教育の恩恵を享受すること。
- 持続可能な発展のために求められる原則、価値観及び行動が、あらゆる教育や学びの場に取り込まれること。
- 環境、経済、社会の面において持続可能な将来が実現できるような価値観と行動の変革をもたらすこと。

基本的な考え

- ESDは持続可能な社会づくりのための担い手を育む教育です。
「人間性を育むこと」「『関わり』『つながり』を尊重できる個人を育むこと」
- 環境教育、国際理解教育、基礎教育、人権教育等の持続可能な発展に関わる諸問題に対応する個別分野の取組のみではなく、様々な分野を多様な方法を用いてつなげ、総合的に取り組むことが重要です。

育みたい力

- 持続可能な発展に関する価値観（人間の尊重、多様性の尊重、非排他性、機会均等、環境尊重等）
- 体系的な思考力（問題や現象の背景の理解、多面的かつ総合的なものの見方）
- 代替案の思考力（批判力） ● データや情報の分析能力 ● コミュニケーション能力 ● リーダーシップの向上

学びの分野

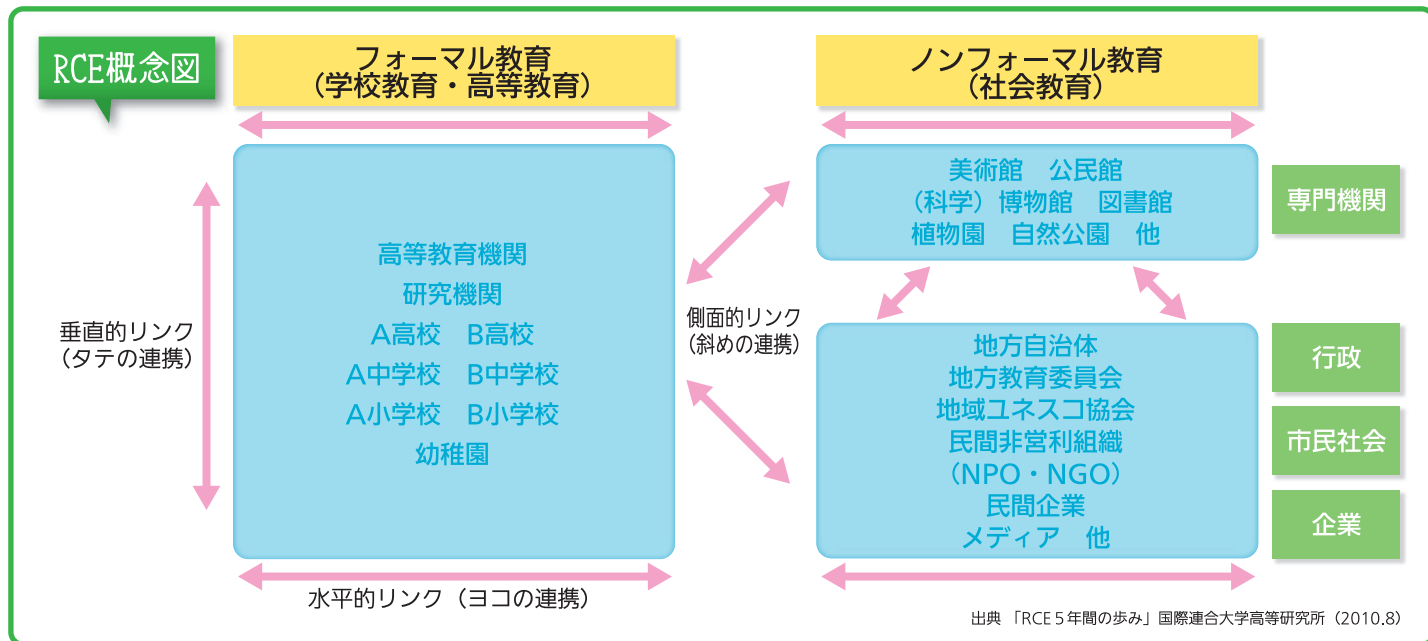


総合的な人間力の育成を目指します!

世界に広がるRCE

RCE:Regional Centres of Expertise on Education for Sustainable Development

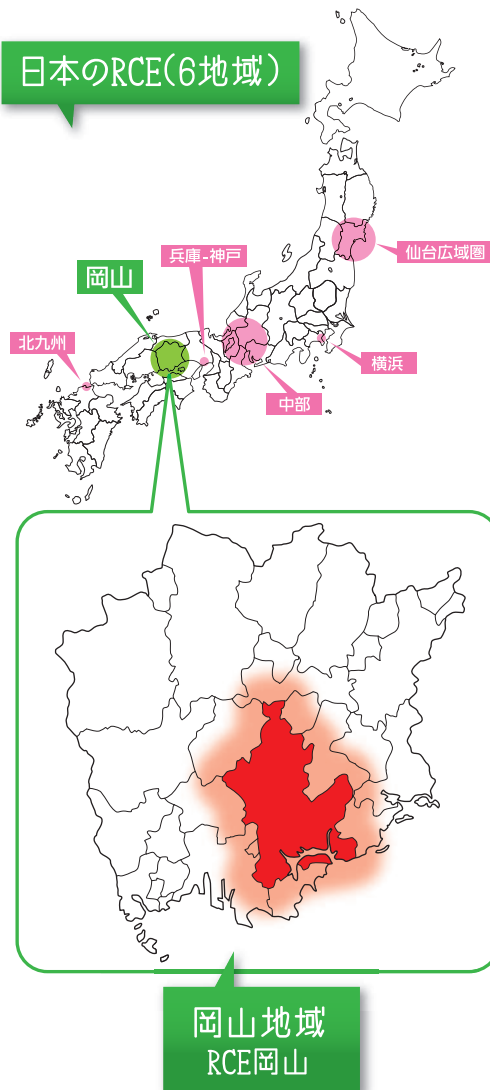
RCE「持続可能な開発のための教育に関する地域の拠点」とは、ESDを推進していく拠点となる地域を世界中に増やしていこうと、国連大学が提唱・認定しているものです。教育機関や自治体・市民団体など多様な組織・団体が連携・協力するための革新的な対話の場となるもので、2005年6月、世界の6地域とともに岡山地域が初めてRCEに認定されました。2013年5月現在、RCEは117地域に増え、地域の特性に合ったさまざまなネットワークによりESDを推進しています。



世界のRCE(117地域)



日本のRCE(6地域)



「持続可能な開発のための教育 (ESD) の10年」は、2002年の国連総会で決議されました。2005年から2014年の10年間に重点的にESDの活動を世界的に広げていこうとするものです。国連大学では、この決議を受けて、グローバルな目標を地域レベルで実践することを目的とするRCE (ESD地域拠点) の世界的ネットワークを展開しています。RCE岡山は、この創設メンバーとして早い段階からESDに積極的に取り組んできており、世界からも注目されています。



国連大学高等研究所
竹本和彦
シニアディレクター

※RCE岡山はイニシャルセブンのひとつです。
2005年6月、世界の6地域とともに岡山地域が世界で初めてのRCEに認定されました。

来て見て知って「岡山ESDプロジェクト」

岡山ESDプロジェクトとは

2005年4月、関係各組織・団体間等の関係者で構成する岡山ESD推進協議会を設置。この協議会を中心に、岡山地域でのRCEとしてのESD活動を推進していくために「岡山ESDプロジェクト基本構想」を作成し、「岡山ESDプロジェクト」を開始しました。

プロジェクト参加組織も増え、現在では160団体以上にのぼります（※2013年9月現在）。多くの学校でプロジェクトに関連したESDが実践されているほか、市内の大学がプロジェクトを通じて地域のESD活動に貢献しています。岡山市が事務局としてESDコーディネーターを配置したことで、環境教育などのESDに関連する活動を展開していた諸組織がつつながり、ネットワークができたこと、公民館を推進拠点として各中学校区でのESD活動が広がったことなどが「岡山モデル」として世界的にも注目されるようになっていきます。

世界全体でRCE認定地域が117ヵ所（※2013年5月現在）となるなど国内外におけるESDの取組が広がってきています。そのような中で、世界最初の認定地域として、これまでのプロジェクトの経験を活かし、岡山市域の成果や経験に関する情報提供や交流等をおとして、広域的なESDの推進に貢献していきます。

岡山らしさは
ここにある

岡山ESDプロジェクトの目的

「持続可能な社会の実現に向け、共に学び、考え、行動する人が集う地域づくり」

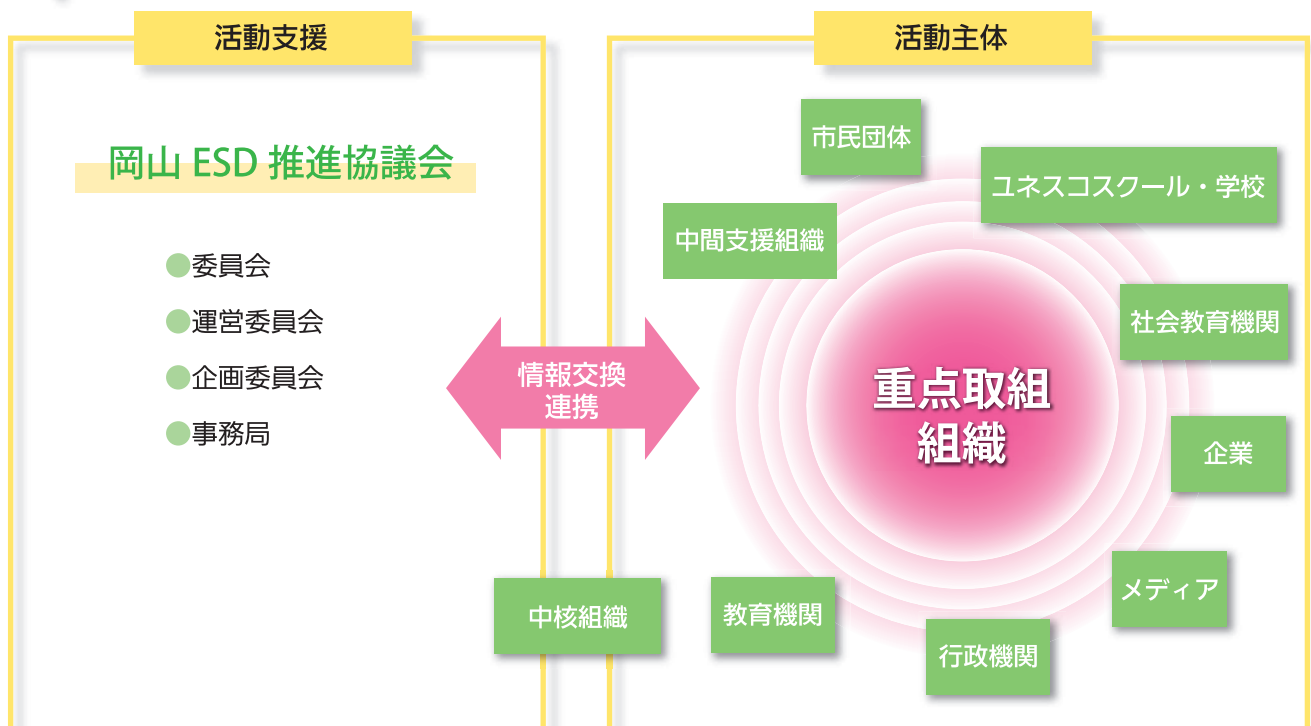


岡山ESDプロジェクトの目標

- 岡山地域に暮らす全ての人々が持続可能な社会づくりに対する知識や理解を持つ。
- 持続可能な社会づくりに主体的に取り組む人の輪を地域全体に広げる。
- ESDを推進する各組織を育成し、能力を高める。

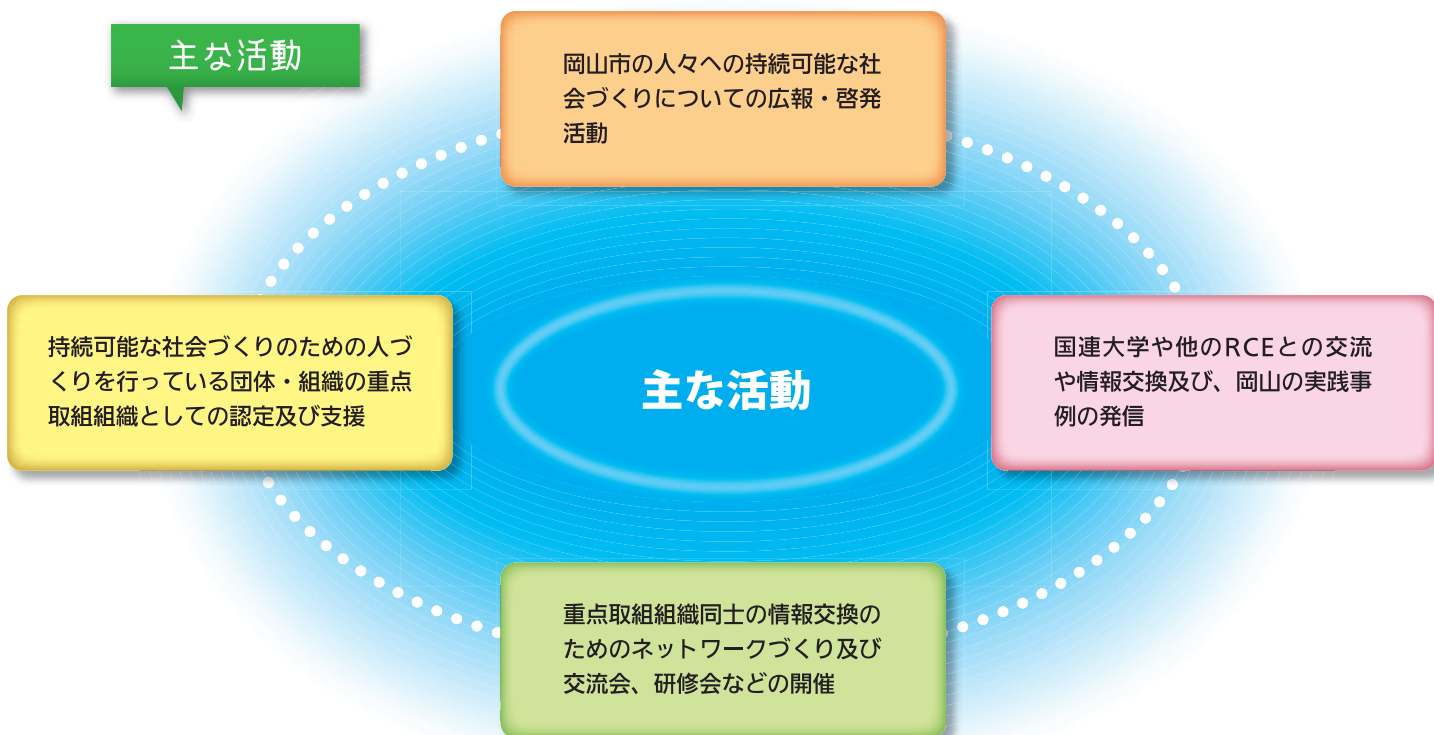
概念図

岡山ESDプロジェクト

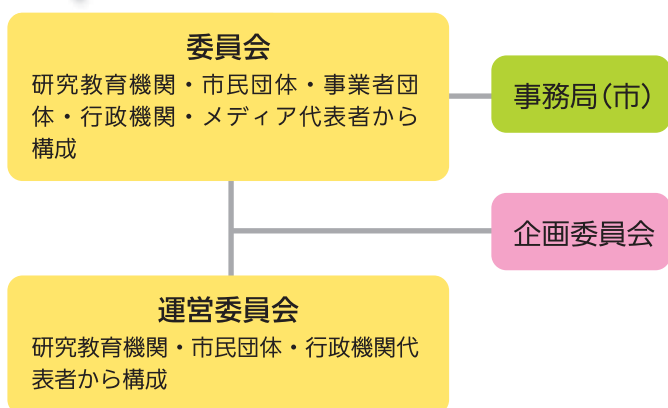


岡山ESD推進協議会とは…

岡山地域の特性に応じたESDを効果的に推進するために、ESDに関連する研究教育機関・市民団体・事業者・メディア・行政の関係者から構成された組織です。また岡山市に事務局を置き『岡山ESDプロジェクト』を推進しています。



組織体制



「岡山のESD活動とその発展に向けて」

今、世界は様々な危機に面しており、新しい展望と政策が求められています。この展望はESDの実践と総合科学の健全な発展によって切り開かれます。ESD活動の発展は、多くの人が問題の原因を理解し、持続可能な発展の道を探索し、協働して歩むことにあります。

世界は来年のESDに関するユネスコ世界会議へ向けて熱く燃えています。日本においても全国で日一日豊かな議論と活動が進められています。岡山は開催地の一つとしてその先頭に立ちたいと思います。



岡山ESD推進協議会会長
岡山大学名誉教授
青山 勲

